

平成 29 年度 環境委員会 事業報告

事業名等	実施内容	反省・総括
ごみ収集対策事業	①集積所の管理運営（通年、地区内 50 箇所） ②ごみ出しの指導（随時）	前半の運営は概ね問題無かったが、9月第2週の金曜日の収集（ごみの分別変更後初めての、全種類のごみが出せる日）で集積所に残されるごみが多く発生した。その後、第2・第4金曜日に地区内全ての集積所へ環境委員が立ち、ごみの分別を個別に指導する事で現在は改善されてきた。今後も指導を継続していく。
	③市町村搬入ごみチェック（8月4日） （桐林クリーンセンターへ市内他地区・周辺町村から搬入された燃やすごみの分別が適切かどうか調査をする。） 今年度は下條村・大鹿村・高森町・鼎・竜丘	竜丘の不適物混入割合結果は2.7%で、5市町村中1位と良い結果となった。 燃やすごみ全体では、不適物の紙資源が4.6%と昨年同様に一番多く混ざっていた。
	④ごみの組成調査（1月26日） （グリーンバレー千代、稲葉クリーンセンター） ●今年度は「埋立ごみ」「燃やすごみ」の両方の組成調査を行った。 （ごみ組成調査：分別されず、入れてはいけないものがどの程度混入しているかその割合を調査する） 埋立ごみ ⇒市内 20 地区中 4 位 燃やすごみ ⇒市内 20 地区中 14 位	「組成調査」の結果はまだ出ていないものの、市環境課と共に調査する中で、『埋立ごみ』には「埋立ごみから燃やすごみに変わったもの」が混ざっていたが、その量は少なく問題は無いとの評価だった。『燃やすごみ』についても「紙資源」が混ざっていたが、少なく問題は無いとの評価であった。 想像していたより良い評価だったため、調査に参加した委員全員が驚き、今までの個別指導の成果が少しは出たのかな、と嬉しく思った。 分別方法を多くの方に指導し、意識と知識の向上を促して正しい分別でのごみ出しに協力してもらえよう、今後の指導も丁寧に根気良く続けていきたい。
リサイクルステーション運営	①リサイクルステーションの運営 （地区内 5 箇所×年 6 回）	概ねスムーズな運営が出来た。
	②ごみ出しの指導（随時）	ステーションへ来た方に対し、正しい分別をして持ち込んでもらえるよう、びん・ペットボトルの分別で間違いやすい点を指導した。
環境美化事業	①春のごみゼロ運動（5月28日） （参加者 1,134 名：昨年度より 39 名減） 内、高校生以下の子供の参加者 52 名	昨年度に比べ、参加者数は減ってしまっている。子供達が小さいころからの環境美化やごみ問題に高い意識を持てるよう、家庭や学校での呼びかけを依頼し、春秋の全市一斉ごみゼロ運動への参加の輪を広げたい。
	②秋のごみゼロ運動（11月12日） （参加者 901 名：昨年より 160 名減） 内、高校生以下の子供の参加者 29 名	地域ごとの環境美化活動は、常会・組合などの身近なごみ拾いや清掃がまず基本にあるので、住民の皆さんに呼びかけ、環境美化の意識を高め、ごみゼロ運動への参加者を増やしたい。
	③全市一斉水辺等美化活動（7月2日） （参加者 1,173 名：昨年より 5 名増）	各地区内の河川周辺の草刈りや土砂の処理、ごみ拾いなどを行った。新川、白井川、茂都計川など一級河川の清掃作業については、県の補助金を申請した。
	④時又灯ろう流しへの協力 （8月16～17日）	各区の正副環境委員長と時又環境委員全員により、数年前から時又灯ろう流しで出たごみの回収作業に協力している。17日朝、大量のごみを分別した。雨の影響か、ごみの量は昨年より減ったということであった。

平成 29 年度 環境委員会 事業報告

	<p>⑤ガードレール洗浄作業の実施（隔年実施） （地域振興委員会と合同実施） 実施日 9月9日 場 所 鷺流峡（参加者73名） 【内訳】環境委員会 24名 地域振興委員会 15名 鷺流峡復活プロジェクト 10名 長野原・時又区会 10名 交通安全・天竜舟下り・住民等 14名</p>	<p>鷺流峡（県道米川飯田線の長野原一時又間）のガードレールの洗浄作業を、地域振興委員会と合同で実施。各委員会や団体の皆さんにもご協力頂き、総勢73名で金たわしを使ってガードレールの汚れを落とした。 作業は2年ぶり、見違えるほど綺麗になった。以前は不法投棄の温床となっていた鷺流峡がスッキリと綺麗になり、不法投棄のされにくい環境となった。この環境を長く守っていききたい。</p>
<p>省エネ推進事業</p>	<p>家庭における環境家計簿の取り組みの推進 ※この取り組みは飯田コアカレッジやおひさま進歩の協力を得て実施</p> <p>①昨年度環境家計簿報告会、省エネ講座 実施日 6月28日（参加者10名） 講 師 南信州おひさま進歩 内山氏 （平成28年度 取り組み者数 10月時点36名）</p> <p>②環境家計簿への周知のための活動 ・6月に竜丘ホームページへデータ掲載 ・6月に組合回覧</p> <p>③文化祭展示用パネルを1枚作成 （4月～9月分の中間集計の際、36名提出） 【内訳】 環境委員 35名、事務局 1名</p>	<p>この取り組みは4年目を迎えた。昨年度の環境委員の取り組み結果から、竜丘地区全体の傾向を数値・グラフ化し全国と比べて、ガソリンや灯油からのCO2排出量が多いことが分かった。 2年間継続した方のデータを基に効果の検証を行い、CO2が削減できた上位5世帯に対し、鷺流峡の竹を使用したメンマ等を贈呈し、表彰を行った。また、協力してくれた全世帯へ、世帯ごとの結果をフィードバックした。 今年度からの新しい環境委員全員で「環境家計簿」にチャレンジし、2年間継続してデータの分析と改善の糸口を見出したい。</p> <p>地区住民に取り組みを広めるため、竜丘のHPから平成29年度版の「環境家計簿」フォーマットをダウンロード出来るようにした上で、取り組みを呼びかける組合回覧を行った。</p> <p>平成28年度の報告会データを基に環境家計簿の結果のパネルを作成。全国平均との比較や、竜丘の電気・ガス・水道・灯油・ガソリンの平均グラフに基づくCO2排出量の説明と省エネに向けたアドバイスをまとめた。また、実施者の感想や今年度の取り組み状況も展示した。 文化祭での展示は、場所が廊下だったためか、なかなか足を止めて見てもらえなかった。来年度は展示場所を変えるなどの工夫をしたい。</p>
<p>鷺流峡環境美化推進事業</p>	<p>①不法投棄パトロール（各区正副委員長参加） （春：4月22日）（秋：10月22日）</p> <p>②竹や樹木の間伐・枝打ち作業 ①委託業者：志可屋 区間：長野原～湯の瀬の湯 期間：12月6日～12月15日 ②委託業者：天竜川鷺流峡復活プロジェクト 区間：湯の瀬の湯西側の山側エリア 期間：12月19日～3月2日</p>	<p>春と秋の不法投棄パトロールで鷺流峡を回り、鷺流峡復活プロジェクトの活動状況を見学し、不法投棄の現状を確認した。ごみ拾い・ガードレール洗浄・竹の伐採等により不法投棄が激減し、綺麗な環境となってきている。</p> <p>河川側の道路沿いは、長年竹や樹木の管理がされておらず、荒れた状態となっている。平成26年度に飯田市の環境美化重点路線の指定を受け、市からの補助金を活用し、竹や樹木の間伐・枝打ちを実施している。 急斜面で危険なため、業者へ作業委託している。</p>
<p>不法投棄対策事業</p>	<p>①不法投棄パトロール（各区正副委員長参加） （春：4月22日）（秋：10月22日）</p>	<p>委員（各区正副委員長）と不法投棄パトロール員により、環境美化重点路線（上川路大畑地籍や新川さる橋等）を中心にパトロールを行い、不法投棄が目立つ箇所を確認した。 秋には大畑地籍へ飯田市の環境課で監視カメラ（ﾄｲﾌﾞｶﾒﾗ）を設置してもらっている。</p>

平成 29 年度 環境委員会 事業報告

	<p>②竜丘クリーン運動 【春：5月28日】桐林環境産業公園内 上川路大畑地籍 【秋：11月12日】駄科新川さる橋周辺 念通寺裏新井原線沿い</p>	<p>パトロール中に不法投棄が目立った箇所について、春と秋のごみゼロ運動に合わせ、ごみの回収作業を実施。不法投棄の撲滅を目指すこの取り組みは竜丘独自の活動である。 特に春のクリーン運動では大量のごみを回収した。秋のパトロールで新たな不法投棄がないか確認したところ、ごみは無く一安心した。 この良い状態が長く続くように、今後ともこの活動を継続していきたい。</p>
	<p>③不法投棄監視カメラ作製設置 (12月23日) 3台作製・1台設置 駄科念通寺裏の新井原道線沿いに1台設置 (不法投棄が多発しているため)</p>	<p>本年度は監視カメラと太陽光発電のセンサーライトを活用した、不法投棄対策用監視カメラを3台製作し、その内1台を設置した。残りの2台は本年度又は来年度に地区内の不法投棄発生場所、または不法投棄されそうな所へ設置する予定。昨年度に設置したダミーカメラも、不法投棄の抑止にある程度の効果を発揮したと感じている。来年度も監視カメラ等の設置を検討したい。</p>
<p>啓発事業</p>	<p>①環境衛生強化週間 第1回 (5月15～28日) 第2回 (10月30～11月12日)</p> <p>②竜丘地区文化祭 (11月5～6日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境家計簿パネル 1枚展示 ・竜丘環境委員会活動パネル 1枚展示 ・ごみ分別変更点の案内パネル 1枚展示 ・ごみ分別クイズ実施 (2日間で128名実施) 	<p>環境衛生強化週間は、今年度より春と秋のごみゼロ運動前の2週間実施するように変更した。各地区のごみ集積所へ、分別啓発用のぼり旗を設置するようにしている。のぼり旗用のポールを随時更新できるように、30本購入した。</p> <p>文化祭へのパネル展示により、竜丘環境委員会の活動や環境家計簿の取り組み内容を知ってもらうことができた。 また、9月よりごみ分別方法が変わったため、変更点を中心に作成した『ごみ分別クイズ』が好評であった。新しく燃やすごみに分類することになった物を展示するなど、理解しやすい工夫をした。ごみ分別の問い合わせも多くあり、展示品や資料で委員が丁寧に説明した。 多くの方が正しいごみの分別を出来るようになるには、まだまだ時間がかかると思う。多くの方に働きかけ、指導を継続することで、正しいごみ分別に対する意識・知識の向上を図りたい。</p>
<p>研修事業</p>	<p>委員研修会の開催 実施日 5月11日 (環境委員67名中55名参加)</p> <p>1部 内容 『環境家計簿について』 講師 南信州おひさま進歩 菅沼氏、内山氏</p> <p>2部 内容 『家庭ごみの分別方法』等について 講師 飯田市環境課廃棄物対策係 小林氏</p>	<p>1部では、竜丘地区基本構想の環境に配慮した取組から、環境家計簿で省エネ・省資源に取り組む活動の大切さを勉強した。また平成28年度の環境家計簿結果に基づく報告で、CO2の排出量が全国平均よりも多いことが分かった。寒い時期に灯油使用量が多いこと、車を使うのでガソリン使用量が多いことが原因として挙げられた。 環境家計簿のつけ方を学び、省エネに役立つように、今年度も委員全員で取り組む事を確認した。2部では、資料『ごみ分別等研修会』でごみ集積所・リサイクルステーションの管理について学び、その後9月より焼却場の変更に伴うごみの分別を学んだ。当時はまだ新しい分別が始まっておらず、その方法について深く理解できなかった。現在は、環境委員として集積所管理のための知識習得に努め、集積所で指導している。</p>